



名玉大専 報 告

第234号

令和3年3月1日

校訓
報恩奉仕
質實剛健
誠實力行

編集発行 / 専修大学玉名高等学校 熊本県玉名市岱明町野口1046番地 ☎0968-72-4151 印刷所 / 株有明印刷 玉名市寺田123-1 ☎0968-73-2055



〈今年度卒業生〉

■総合ビジネス科 16名 ■普通科 75名
■情報メディア科 27名 ■合計 118名

卒業生の皆さんへ

学校長 渡辺 正隆



卒業生の皆さん、卒業おめでとうござい
ます。晴れてこの卒業の日を迎えた皆さん
を、心からお祝いたします。専修大学玉名高
等学校に入学して、三年が経ちました。そ
の間皆さんは、本校の「知」の輪を広げ
る「活動のもと、学習活動・部活動・学校行事・生徒会活動など様々
な活動を熱心に取り組み、三年間の教育課程を無事修了されまし
た。

卒業生の皆さんは、入学式の日のことを覚えて、いますか。平成
三十年四月、春の訪れが例年より早かったものの、桜の花が散り
急ぐことなく皆さんの入学を祝福してくれた入学式でした。その
主人公である皆さんは三年間、学園への取組みをはじめ、委員会
や部活動、そして、体育祭や文化祭などの学校行事を積極的に取
組み、これまでの長い歴史の上に、新たな伝統を構築してくれ
ました。皆さんは専修大学玉名高等学校の一員として、入学時の
期待にしっかりと応えてくれたのです。

さて、これまでも伝えてきましたが、今、世界はめまぐるしい発
展を続けています。皆さんが本校で過ごした三年間でさえ、IT
をはじめとした技術の進歩は目を見張るものがあります。最近よ
く「IoT」という言葉を耳にするようになりました。IoTとは
「Internet of Things」の頭文字をとったもので「モノのインターネ
ット」という意味です。IoTは、今後社会の発展に大きく関係す
るといわれています。特にビジネスにおいて、IoTの役割は非常
に大きなものであると期待されています。この言葉の初めに使っ
たのは一九九九年にマサチューセッツ工科大学のAuto-IDセ
ンサー共同創始者であるケビン・アシュトン氏とされています。私
たちはインターネットを通してコミュニケーションする時代に入
り、今ではデバイス・人・物のすべてがインターネットでつながる
時代に入っています。

そして、世界に目を向けると、SDGs (Sustainable
Development Goals)「持続可能な開発目標」が進められています。
このSDGsは、二〇一五年九月にニューヨーク国連本部におい
て「国連持続可能な開発サミット」が開催され、一五〇を超える加
盟国首脳が参加のもと、その成果文書として、「我々の世界を変革
する：持続可能な開発のための二〇三〇アジェンダ」が採択されま
した。アジェンダは、人間、地球及び繁栄のための行動計画として、
宣言および、途上国だけでなく、先進国も含めたすべての国が取
り組むべき国際目標をかかげました。この目標が、ミレニアム開発
目標(MDGs)の後継であり、一七の目標と二一九のターゲットか
らなる「持続可能な開発目標(SDGs)」です。そして、この目標に
は「目標とターゲットがすべての国すべての人々、およびすべて

感謝を学ぶ

前生徒会長 山本 由依



貴重な高校三年間も終わりを告
げ、ついに卒業という日を迎えました。
三年間、お世話になりました。
専修大学玉名高等学校で過ごした時
間は、あつという間でした。不安と緊張でいっぱいなのになか
迎えた入学式が、今では昨日のことうです。そんな短
くも濃い三年間を、専修大学玉名高等学校で送れたことを

の部分で満たされるよう、誰一人取り残さない(No one will be left behind)という原則が根底にあります。皆さんもSDGsに
ついては、この一年、しっかりと活動できたとと思います。

これからは皆さんは、AI技術の飛躍的な進歩とともに、環境や
貧困問題、ジェンダーフリーや教育問題など、これまでにない多種
多様な課題に向かい、世界を舞台に今までの価値観では計り知
れない、新しい社会を築いていくこととなります。このような社会
で活躍していく皆さんに、今一度、本校での学びを思い出し、さら
に活かしていく努力を強く期待します。その学びとは「学ぶ力と
人間力の向上」です。この二つの力は、皆さんが大人になり、仕事に
就き、社会に貢献を始めた時に必要な力になります。

まず、はじめに「学ぶ力の向上」。言い換えると、学び続ける力と
も言えます。この力は、皆さんが新たなことに挑戦し、自ら受け入
れ、学ぶ姿勢を継続する力を指します。皆さんはこれから、日々変
化する社会情勢や進歩する技術、日本や世界の新たな在り方につ
いて学び続けなければなりません。教科書はありません。皆さん
自身が自分の師となり新たなことを学び続けていくことが必要
となります。

そして、次の力は「人間力の向上」です。先に述べた「IoT」の技
術がどんなに進もうとも、むしろ、それらの技術が進めば進むほ
ど、皆さんに必要となる物です。何事にも興味をもって果敢にチ
ヤレンジする強い意欲、規範意識を持ち他者を思いやり、お互い
を高め合う競争力、常にチームワークを忘れないコミュニケーション
能力、そして、いかなる状況でも、感性を豊かに働かせながら
自分らしい生き方を探究できる強い意志と忍耐力。これらは皆さ
んが本校で、また部活動や学校行事で着実に身に付けてきた力
です。AIには自分らしい生き方を考える事や新たな文化を育てる
ことはできません。ましてや、それぞれお互いを尊重しあって全力
で取り組み、切磋琢磨して新たな価値を創造することは不可能な
ことです。皆さんは、これからの様々な組織に所属し、そのチー
ムの一員として引き続き人間力を高めてください。そして、二つの力
をフル活動させて、皆さんが活躍する先々で、専修大学玉名高等
学校の卒業生であること、さらには本校での学びに誇りを持続
してください。

最後にもう一度、皆さんにお願いです。世の中はこれからさら
に、加速的に変化していくことでしょう。その変化に対応するた
めには、常に学ぶことを忘れず、さらに高い目標を持ち、変化に柔
軟に対応できる力を備えなければなりません。これからの人生に
は、いろいろな壁が立ちちはだかるでしょう。皆さん、臆せず、また
躊躇せず積極的に挑戦してください。その行動力が将来の夢への
実現につながります。これからも、そしていつまでも、夢と希望に
満ちた皆さんを全力で応援し続けます。

最後になりましたが、保護者の皆さんにおかれましては、これま
で本校教育へのご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。
ございました。心からお礼を申し上げます。これからの卒業生の洋々
たる前途を祝します。ますますのご健闘とご活躍を祈念いたします。

誇りに思います。

私はこの三年間で多くのことを学び、大きく成長するこ
とができました。特に、生徒会会長を経験させていただきました。
たことは、私にとって人生の大きな財産となりました。生
徒会活動を通して、「感謝」を学ぶ機会が多くなりました。生
また、日常生活においても改めて気づくことがたくさんあ
った三年間でした。

共に笑い一緒に過ごしてくれた友達、支えてくださった
先生方、そしてこれまで育ててくれた家族への恩返ししが
できるように精一杯頑張ります。今までありがとうございます。



先生から贈る言葉

三年学年部長

柳瀬 日出男

今日は「三次元アリ」の話をします。この話題はあるアニメに特別出演した野口聡一さんの言葉です。「(省略)皆さんは自分をアリだと思ってください。ここに一本の線を引きます。まずは、自分を線の上を前後だけにしか歩けない「一次元アリ」だと思ってください。そこに、「二次元アリ」は前に進むことができます。「三次元アリ」は前に進むことができず、「二次元アリ」は前後と左右と上下にも行ける「三次元アリ」がやってくる。三次元アリは、その壁を見て言います。「乗り越えればいいじゃないか」と。そうして三次元アリは、壁を越えて先に進むことができます。新しい世界を進むことができます。

この話で僕が言いたいことは、上から見る、下から見る、気がつくことがあるんじゃないかと、言うことです。(宇宙兄弟 十三話より) 新しい世界を見つめるには視点を変えてることが重要だと野口さんは訴えています。さて、君たちは四月より新しい生活が始まります。もし、自分自身の動きが凝り固まったときには、この話を思い出してください。きつと、勇気がでるはずですよ。

三年一組担任

矢橋 亜沙美

卒業おめでとうございます。高校生活は楽しい出来事も、辛い出来事もたくさんあったと思います。仲間と共に時には一人で耐え、乗り越えてきたのではないのでしょうか。三年間で培った力は必ずあなたたちを助けてくれるはずです。幸せは自分の心の持ち方次第です。人はてのひらで水をすくった時に、こぼれていく水に気がとられがちです。しかし、必要なのはてのひらに残った水です。ないものではなく、あるものに目を向けてみてください。皆さんの幸せを心から祈っています。

三年三組担任

山本 国臣

今まで学んだこと、体験したこと、努力し続けたことが君達の力になっているのです。これから進む道には、簡単には解決できないことも出てくるでしょう。その時に、この専大玉名で、学んだ様々なことを思い出し、現実から逃げずに立ち向かって欲しい。

三年S組担任

加藤 智猛

自分には無理だとすぐに逃げるのではなく、周りに目を向け、助けて欲しい、力を貸して欲しいという勇気を持つて下さい。人はひとりでは生きてゆけない。ここで出逢った仲間や先生方、様々な経験が君達の支えとなるのです。どんなことがあっても諦めないで欲しい。学びを、働くことを、自分自身を、生きることを、卒業おめでとう。君達のこれからの人生が輝かしい未来であるように。

君たちとただひたすら前を向いて走り続けたあつという間の三年間でした。この文章を書くにあたって、この三年間を振り返ってみると、いつもその時々でベストを尽くして頑張ってきたつもりですが、あのときもいつと頑張っていたら、あのときもいつと頑張っていたら、私に何を教えることができたのだろうか?と思うことはあります。でも、逆に私は君たちからたくさん学ぶことができ、皆さんの感動をもらうことができました。君たちには本当に感謝しています。

これからの人生は山あり谷あり、当たり前だ。調子の良いときは笑顔で元気にやることは簡単だけれど、その笑顔が問われるのは、自分の思う通りにいかない時にどうなるか、だと思えます。自分の思う通りにいらない時に、「もうダメだ」と簡単にあきらめてしまったり、つぶれてしまったりしては、その先には進めません。いくら悔やんでも、いくら悲しんでも、いくら文句を言っても、元には戻らないし、何も解決しません。笑顔で元気に、いつも前を見て「ではどうするか」を考えることが、ずっと大切だということを忘れないでください。新しいスタートを切る君たちに次の言葉を贈ります。

The world isn't all sunshine and rainbows. Never give up. And never stop believing. It's not about how hard you hit; it's about how hard you can get hit and keep moving forward. "Rocky Balboa" (2006) (人生はバラ色ばかりじゃない。絶対にあきらめな。信じ続けろ。大事なものはどれだけ強く打つかではなく、いくら強く打ちのめされても前に進み続けることだ。)

三年A組担任

築城 巨寛

早いもので、君たちが入学してもう三年が過ぎ、今春で卒業することになりました。卒業おめでとうございませう。高校卒業という節目の日に、ぜひこれまでも振り返ってくださいます。喜怒哀楽、様々な出来事があったかと思えます。そして、君たちを支えてくれた人がそこにはいます。今の自分があるのは、もちろん君たち自身の頑張りがあり、そして周りの支えがあったからこそです。周囲への感謝の気持ち、心配りをいつまでも忘れないでください。これから先、不確実さを感じることも多々あることでしょう。先が見えない時

三年B組担任

相良 光紘

三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。旅立つ皆さんに、私の好きな曲の歌詞を紹介いたします。「なるべく小さな不幸せ なるべく小さな不幸せ なるべく小さな不幸せ なるべく小さな不幸せ」(人生たかさんのこと)に感動してきたほうが、より面白く充実できると思っております。嫌なことがあるから嬉しいこともある。喜びも悲しみもたくさん受け入れて、良い人生を歩んでください。

最後に私の好きな言葉を贈ります。「過去に感謝 現在に努力 未来に希望」君たちの人生に幸多きことを願っています。

「卒業おめでとうございませう。高校三年間はどうか?たぶん、殆どの人が「アツ」という間の時間だったのではないかと、思います。ただ、この「アツ」という間の時間の中で、しっかりと目標に向かって努力をした人の、思い出に精一杯励んだ人、それぞれ沢山の思い出と素晴らしい成長を得ることができたと思えます。少し悲しい話になりますが、これから先の人生も「アツ」という間の時間です。ただ、この限られた時間をどう使うかはあなた次第です。自分がどう生きていくのか、どうなりたいのかをしっかりと定め、一人ひとりがそれぞれの人生を思い切りエンジョイして欲しいと思います。そしていつか君たちの素晴らしい物語を聞くことができたら幸いです。「君たちの輝かしい未来に、心からエールを贈ります。」

「卒業おめでとうございませう。有名な科学者の言葉です。「成功者人間になろうとするのではなく、価値のある人間になろうとするのだよ」多くのことを知り、学び、悩んで考え、より大きな人間へと変わってください。卒業おめでとう! 未来へ羽ばたこうとする皆さんの、これからの活躍を期待しております。」

三年一組副担任

坂本 忠雄

卒業おめでとうございませう。大賀 英司

三年C組担任

星原 一八

皆さんは勉強や部活動、学校行事に取り組み姿に元気をもらった三年間でした。これからは自分で自分を律していかなければなりません。皆さんの頑張り次第です。いくらでも未来を変えることができます。どうか、夢を叶えるための努力を惜しまないでください。未来を見つめてください。

奇妙な一年間でした。人と人とが接触しない生活。かつて我々が経験したことのない毎日でした。人は地球上で最も大きな群れを成す生き物の一つだと言われています。その社会をなす人々の交流が大きく制限されました。果たして学校も不自由な生活を強いられることとなりました。登校自粛、手洗い、うがい、マスク着用、部活動や行事の制限。諸君は淡々と協力してくれました。愚痴も言わず、嘆きもせず。世界が、このような日本人の姿に感心しました。それを支えてくれた諸君に深く感謝したいと思います。この苦しい経験を忘れず誇りをもって生きてください。君達の人生が笑顔に満ち溢れ、キラキラと輝き続けることを切に願っています。

私は皆さんに「明日は明日の風が吹く」という言葉を贈ります。「先のこと案じるのではなく成り行きに身を任せるのが良い」という意味のことわざです。この先皆さんには、失敗や緊張によってぐらぐらと考え込んでしまう時があるかもしれません。そんな時は、今日と明日は違うと考えると切り替えて明日に期待しようとするだけでとても気楽に過ごせるはずです。思考を柔軟にして、なるべくストレスを溜めない生き方を探してください。皆さんの人生が素晴らしいものになることを願っています。

卒業おめでとうございませう。尾方 響子

人生一〇〇年代といわれ、まだまだ残りの人生が長い皆さんですが、今後の人生、楽しいことばかりではないと思えます。そんな時、小さな幸せを見つければ、辛いことも半減するはずですよ。美味しいご飯を食べる時、好きな音楽を聴く時、天気が良くて心地よい時、キノコやキノコを発見した時...嫌なことがあると、そのことで頭がいっぱいになりがちですが、小さな幸せを見逃さず、大きく豊かな人生になることを祈っています。

進学する生徒を代表して 知識・教養を深め“夢”実現へ

専修大学

経済学部生活環境経済学科



河部 浩輝
(向陽中)

私は、専修大学経済学部生活環境経済学科に進学します。高校入学時から専修大学への進学を考えていて、そのために文武両道を目標に高校生活を送ってきました。

学習面では、毎日の授業を真剣に取り組み勉強時間の確保が難しく、中での少時間の集中して取り組むことを意識しました。また、英語検定なども積極的に受験をして自分自身の学習に役立ててきました。

部活動では野球部に所属し、甲子園を目標に日々努力を続け、多くのことを学びました。技術的なことだけでなく、精神的な成長もその一つだと思っています。また、辛いときや苦しいとき、楽しい時を共有してきた仲間やそれを支えてくれる家族や多くの友人、応援してくれている大勢の人の存在が自分自身の成長に欠かさないものであり、その大切さに気づくことが出来ました。

しかし、私自身がこの三年間で最も感じたことは、あたりまえのことや日常と思える生活を送れることの大切さや感謝です。新型コロナウイルスの影響で、部活動が出来ない日や学校に行けない日が続き、私たちの生活は日常からかけ離れたものになっていました。今までの日常やあたりまえが崩れ、友人や家族にも会えない日々は不安で辛かったが、この経験は私たちがこれからの人生に必ず意味があるものだと思えます。高校生という貴重な時期に多くのことを失い、辛く苦しかったが、この経験をした私たちがこれから出来ることのあるのではないのでしょうか。

今後、私たちの生活や社会全体が大きな変化をしていく中で、高校三年間で学んだ多くのことを活かしていくために大学では今まで以上に勉学に励み、多くのことを学び自分自身の成長につなげたいと思います。また、支えてくれた家族や先生方、たくさんの思い出を作った友人への感謝の気持ちを忘れずに、恩返しが出来るように努力を続けていきます。ほんとうにありがとうございました。

九州看護福祉大学

看護福祉学部看護学科



浅井 佳奈
(荒尾海陽中)

私は、九州看護福祉大学看護福祉学部看護学科に進学します。合格に至るまでたくさんの先生方に指導し

ていただきました。進路についてとても悩んでいたとき、相談に乗っていただいたり、アドバイスをしてくださった担任の相良先生、柳瀬先生、毎週私の書いた小論文を添削してくださった堤先生、面接指導では森本先生に、面接の基本から応用的なところまで徹底的に指導いただきました。たくさんの先生方のおかげで私は合格することができました。本当にありがとうございます。

私は、三年間硬式テニス部に所属していました。上手くいく事よりも、上手くいかない事の方が多かったですが、プレーの面白さだけでなく、精神面でも成長できたと感じます。自分が出来ない事を自覚し、そこから逃げずに立ち向かうことを克服したときの達成感やそれまでの努力の過程は、何物にも代え難い強い自信に繋がりました。またこの経験から、人の辛さや苦しさに気が付くことが出来るようになりました。人の辛さや苦しさに気付く力は、将来私が看護師として働く上で重要な力だと思っています。

将来は患者さんの小さな変化に気付く事ができる、そして患者さんの辛さや苦しさを少しでも和らげるための看護師になりたいです。大学の四年間は、身に付けた知識が全て、患者さんの命を左右することを念頭に置き、理想の看護師になるための努力を重ねていきます。また、いつも笑顔で努力の過程を楽しんで行きたいと思っています。

この高校三年間は、たくさんの先生方や友達、そして家族のおかげでとても濃いものになりました。お世話になった方々の感謝の気持ちを忘れないよう目標に向かって頑張ります。また、三年間で学んだ事が無駄にならないよう、精一杯努力します。とても充実した三年間でした。ありがとうございます。

熊本学園大学

商学部ホスピタリティマネジメント学科



坂田 晴
(荒尾第三中)

私は、熊本学園大学商学部ホスピタリティマネジメント学科に進学します。合格に至るまで、たくさんの先生方にお世話になりました。志望理由書や小論文の添削をしてくださった後藤先生をはじめ、たくさんの先生方に励まされていたことがとても頑張ることができました。本当に感謝しています。

私は高校三年間で様々なことに取り組みました。学習面では、定期テストで基準点を満たせるよう、テスト前はもちろん、日々の授業でも必死になって勉強しました。きつても乗り越えることができたのは、クラスのみならずおかげです。わがままなところを教え入ったり、励まし合ったりしてなんとか三年間頑張ることができました。

生徒会活動では、人の役に立つことの喜びと達成感を様々な場面で感じる事ができました。体育大会では、多くの時間を使って新しい競技やルールを考えました。練習でうまくいかず、やり直しになることも多々ありましたが、最終的には全て大成功で終わることができました。他にも学校行事の運営や募金活動、ボランティア活動などを通して「ありがとう」と言っていた機会がたくさんありました。その時の気持ちを忘れず、今後も率先して人の役に立てるような大人になりたいです。

大学では、将来の夢に少しでも近づけるよう、お母さんの精神を基礎から学び、新型コロナウイルス感染症が流行している今、自分自身でできることを見つけ、勉強に励みたいと思います。

私の高校生活は、家族や友達、先生方など、たくさんの周囲の方々のおかげで、充実したものとになりました。様々な経験を通過して、仲間と一緒に成長できたような気がします。支えてくださるたくさんの方々への感謝の気持ちを忘れず、努力が続けます。三年間、本当にありがとうございました。

福岡大学

商学部経営学科



山本 由依
(腹栄中)

私は、福岡大学商学部経営学科に進学します。合格に至るまでたくさんの先生方に支えられてきました。三年に進級した時、私にはまだ夢がなく、進路を決めかねていました。自分でも何がしたいのか分からず、時間がただ過ぎていくことにもだかしく思っていました。そんな中、たくさん話をしてくださった進路が決まった後も面接の練習や自己推薦書などについて教えてくださった加藤先生には本当に感謝しています。また、小論文や自己推薦書の添削をしてくださった山内先生、気にかけてくださった全体的に感謝します。

専修大学玉名高等学校で過ごした三年間は、とても充実したかけがえのないものとなりました。卒業生として入学し、ソフトテニス部に入り、文武両道を目標に日々を過ごしました。また、高校二年の七月から一年間は、生徒会に入り、生徒会活動も両立しました。生徒会長という貴重な経験を通して、心身ともに大きく成長することができました。募金などのボランティア活動や、体育大会、文化祭などの学校行事の企画・運営等に携わること、改めて仲間の大切さや人の心の温かさを、助けあう心を学びました。

大学では、在学中に公認会計士の資格取得を目標として勉強に励みます。三大難関国家資格の一つといわれるほど難しい試験ではありますが、大学には同じ夢をもつ仲間が集まります。その仲間と助け合い、切磋琢磨しながら、夢を叶えられるように頑張ります。

この充実した高校生活を送ることができたこと、たくさんの思い出をつくってくれた友達、いつも支えてくださった先生方、そして家族に本当に感謝しています。この先、何があるのか分からなく、経験したことや学んだことを糧として、強く生きていきます。三年間ありがとうございました。

就職が内定した生徒を代表して 社会の荒波に立ち向かう“決意”

日本郵便株式会社九州支社



松村 航
(有明中)

私はこの春、専修大学玉名高等学校を卒業し、日本郵便株式会社九州支社に就職します。日本郵便株式会社は、昔から地域のお客様の生活を助け、社会と地域の発展に貢献しています。そのような企業で働けることを嬉しく思います。

この専修大学玉名高等学校で過ごした三年間はとても充実した学校生活を送ることができました。

私は、三年間野球部に所属していましたが、甲子園で優勝することを目標に頑張っていました。新型コロナウイルスの流行により、試合も中止になり、練習もできなくなりました。毎日仲間と練習ができる環境があたりまえではないことを実感しました。しかし、この経験があったからこそ、日々の生活を大事に過ごすことの大切さに気づきました。また、仲間と助け合うことで協調性を養うことが出来ました。高校野球を通して培った力を社会に出て役立てていきたいと思っています。

最後に、二年間お世話になった先生方、共に助け合い励ましあった仲間、そして、両親には感謝の気持ちでいっぱい입니다。これからは、一人の社会人としての責任を持ち、社会に貢献できる人になりたいです。三年間、本当にありがとうございました。

熊本県農業共済組合 玉名支所



小山沙以歌
(腹栄中)

私にとって専修大学玉名高等学校で過ごした三年間は、楽しいことや辛いこと、いろいろなことがありましたが充実した三年間でした。

私は三年間インターアクトクラブに所属し、募金活動などの様々な活動に取り組みできました。活動していく中でたくさんの人の温かさに触れることができるのと同時に、地域の方々に支

えてもらっていると感じました。そのため私は、少しでも貢献できるように地に就職することを決めました。

春からは社会人と働きます。今までは違う環境からスタートしなければいけません。初めての事はわかりで分からない所もたくさんあると思います。しかし、分からないままにせずその度に学んでいき、苦手を意識を持つことなど積極的に取り組んでいきます。また、地域の方々と話す機会が多いので、高校三年間で身に付けたコミュニケーション能力を大切にしていきたいです。

最後に、二年間お世話になった先生方、どんな時も支えてくれた家族や友人にとても感謝しています。専修大学玉名高等学校で学んだ事や経験はどれも大切な物になりました。その事を忘れず、これからしっかりと、立派な社会人になれるよう頑張ります。三年間本当にありがとうございました。

株式会社富士金属



仲田 淳史
(三加和中)

私は高校卒業後、株式会社富士金属に就職します。

この専修大学玉名高等学校で過ごした三年間で、たくさんの人に出会い、多くの経験をさせてもらったこと、とても充実した学校生活を送ることができました。

私は、三年間バスケットボール部に所属し、主将を務めさせてもらいました。全国大会出場を目標に日々努力しましたが、その目標は達成できませんでした。しかし、たくさんのことを学ぶことができました。まず日常生活の大切さです。私は部活動だけでなく、勉強にも力を入れることができて、定期考査では良い結果を残すことができました。また、積極的に行事に参加することで、部活動でもどうしたら勝つことができるのかなど積極的に自分で考え、チームワークや指導してくださる先生とコミュニケーションをすることができ、チームの先頭に立つて行動することができました。

そして感謝の心を持つことです。私は怪我が多く、部活動に参加すること

が少なく、迷惑をかけることが多くありました。しかし、そんな時に支えてくださった先生方、そして家族で指導している方々から支えてもらい期待していただくことが日々の活力となりました。

一人で努力するのではなく、状況を見て私がチームメイトのために何ができるのか、協力できることはないかを考え、行動することを学びました。春からは、社会人となります。社会人としての責任も多くなり、今まで以上に厳しくなると思います。先輩方に頼られ、社会に貢献出来るよう、責任のある行動をしていきます。

最後に、お世話になった先生方、どんな時も支えてくれた家族、仲間には感謝しています。三年間、本当にありがとうございました。

海上自衛隊



森 直椰
(山鹿中)

私はあこがれであった海上自衛隊にこの春から就職します。この専修大学玉名高等学校で過ごした三年間はとても充実した学校生活を送ることができました。

三年間の高校生活を一番成長させてくれたのはやはり、野球部の練習で行なった「アメリカンノック」略して「アメリカン」だと思っています。はっきり言ってアメリカンがなければ今の自分はいないと思っています。今こそ良い思い出ですが、現役の時とは正直いやで心の中で泣いてました。そんな、いつ終わるか分からない精神的、身体的な地獄を経験したおかげで面接などの場面で緊張しないメンタルを手に入れたことが出来ました。そう考えると、一年生の時にボール拾いをしていた自分を半強制的にアメリカンをさせてくださった監督、コーチにはとても感謝しています。いい経験をさせてもらいました。

春から社会人となり今まで以上に沢山の経験ができると思うワクワクしておりそれによりさらに成長できる自分が楽しみでしかたありません。

最後に、お世話になった先生方、愛のある指導をしてくださった監督、コーチ、見守ってくれた家族、苦楽を共にした仲間には感謝しています。本当にありがとうございます。退屈のない最高の三年間でした。